

事業名	畜産技術奨励費	財務コード (事業)	056404
-----	---------	---------------	--------

細事業名	その他の事業経費(畜産技術奨励費)
------	-------------------

担当部課室	農政 部 畜産 課 生産 担当 (内線)	5261
-------	----------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S31 年度 ~ 終期 年度
実施主体	負担(畜産技術連盟)、補助(山梨県家畜改良協会、山梨県肉畜鶏卵共進会実行委員会)、県(直営)
事業の目的	誰(何)を対象に 畜産農家(酪農、肉用牛、養豚、養鶏)
	その対象をどのような状態にして 共進会等への参加により、家畜の改良・生産意欲を高めている。
	結果、何に結びつけるのか 県内畜産の振興
事業の内容 ※主に 23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○畜産技術連盟及び第13回全日本ホルスタイン共進会への負担                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1 畜産技術連盟負担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付先:山梨県畜産技術連盟 ・負担額:30千円</li> </ul> </li> <li>2 第13回全日本ホルスタイン共進会負担金→東日本大震災の影響により中止</li> </ul> </li> <li>○種畜共進会、肉畜鶏卵共進会開催及び第13回全日本ホルスタイン共進会経費への助成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1 種畜共進会開催費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助先:山梨県家畜改良協会 ・補助率:1/3 ・補助額:350千円 ・開催時期:10月</li> </ul> </li> <li>2 肉畜鶏卵共進会開催費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助先:山梨県肉畜鶏卵共進会実行委員会 ・補助率:1/3 ・補助額:350千円 ・開催時期:8月</li> </ul> </li> <li>3 第13回全日本ホルスタイン共進会開催費補助金→東日本大震災の影響により中止</li> </ul> </li> <li>○中央畜産技術研修や各種事業推進会議等への参加 研修・会議に参加することにより、県の畜産指導担当者の資質向上を図り、指導体制を強化する。</li> </ul>
根拠法令等	山梨県畜産共進会開催費等補助金交付要綱

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 【出品数】 ・種畜共進会(乳牛) ・肉畜鶏卵共進会 ①肉用牛 ②肉豚 ③鶏卵 活動指標達成率 (実績値/目標値)	中止(口蹄疫の国内発生による)	24頭	24頭	28頭	28頭	目標設定の考え方 過去の出品数に基づき設定
	70頭	70頭	70頭	70頭	70頭	データの出典等 共進会実施要領
	①肉用牛 100頭 ②肉豚 15点 ③鶏卵 計185	100頭 計209	100頭 計209	100頭 計213	100頭 計213	
		100.0 %				
成果指標 生産額(牛乳・肉牛・豚・鶏卵) 成果指標達成率 (実績値/目標値)	8,903百万	8,903百万	8,888百万	8,903百万	8,903百万	目標設定の考え方 近年、景気の低迷等により畜産物の生産額は下降傾向であるため、前年度実績を目標値とした。
		99.8 %				データの出典等 平成23年農業及び水産業生産額実績(山梨県農政部)
	成果指標によらない成果					
決算額、予算額 (千円) うち一財額	485		785	830	931	枝肉や鶏卵の品質や種畜(乳用牛)の能力等を共進会において評価することにより、出品または見学した生産者において飼料や飼育環境・方法の改善などが行われ、更なる品質及び能力向上の取り組みに繋がっている。
所要時間(直接分)	43.5 時間		97.0 時間	97.0 時間	87.0 時間	
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	
所要時間計	43.5 時間		97 時間	97 時間	87 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	88		196	196	176	

III これまでの事業の見直し・改善状況

平成20年度行政評価により、事業の見直しを行い、一部事業を削減した。

#### IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
b	b	成果指標として設定した牛乳や肉牛等の年間生産額は8,888百万円(目標額:9,239百万円)であり、成果指標の達成率は96.2%である。 また、枝肉や鶏卵の品質や種畜(乳用牛)の能力等を共進会において評価することにより、出品または見学した生産者において飼料や飼育環境・方法の改善などが行われ、更なる品質及び能力向上の取り組みに繋がっている。 以上のことから、当該事業は意図した成果を上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見当たらない(40%未満)。

#### V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目
有	種畜共進会及び肉畜鶏卵共進会は定例的に開催されていることから、電子媒体等の活用により、情報を共有化することとし、担当者の打合せ会議の回数を減らすことで、所要時間を削減を行うなど、業務の効率化に向けた検討を行う。	k

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費削減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の削減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

#### VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	事務の効率化を図るため、種畜共進会(年1回・10月)及び肉畜鶏卵共進会(年1回・8月)の開催にあたり、担当者による事前打合せを電子媒体などの活用により、打合せ回数の削減を行う。 畜共進会に伴う打合せ:3回/年 → 2回/年 肉畜鶏卵共進会に伴う打合せ:3回/年 → 2回/年(部会毎)

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。